

3月定例会
2月21日～3月18日

令和7年度予算が成立

第1回定例会では、令和7年度予算など、25議案が市長から提出されました。議長を除く21人で採決した結果、原案のとおり可決・承認・同意しました。(採決の結果は、4ページ)

条例の一部改正

◆狭山市公の施設の使用料の適正化に係る関係条例の整備に関する条例

Q なぜこの時期に施設の使用料の適正化を図ることになったのか。

A 近年のエネルギー価格や人件費などの物価高騰は、施設の管理運営経費や証明書等の発行に係る事務経費にも多大な影響を与えており、市の財政状況を考慮すると、経費の増額分を利用者に負担していただくことも、やむを得ず必要があると考え、適正な使用料及び手数料へ改定するものである。

◆狭山市職員の勤務時間、休日及び休暇に関する条例の一部改正

Q 育児に係る休暇取得のための職場のバックアップ体制は取れているか。

A 代替の会計年度任用職員を任用するなど、職員が休暇取得を申請しやすい環境づくりに努めている。

補正予算

◆令和6年度一般会計補正予算(第8号)

Q システムの標準化・共通化について、他の項目でも関連するところで減額の補正が出ているが、その理由は。

A システムの標準化・共通化に係るシステム移行は、本市と契約中の一部システムベンダーより、品質の確保やシステムエンジニアの枯渇などを理由に延伸することになった。

令和7年度予算

◆一般会計 **歳入歳出 536億2200万円**
歳入

Q 個人市民税と法人市民税において増額の見込みとなっているが、その理由は。

A 物価高騰による賃金や年金支給の上昇を見込み、個人市民税の現年度分につ

いては3.3%の増とした。法人市民税については、大手企業の収益動向や月例経済報告の基調判断などを基に算出し、15.2%の増とした。

Q 当初予算後の財政調整基金の残高と昨年度との比較は。

A 財政調整基金の残高は24億425万8,000円になると見込んでおり、昨年度同時期と比較すると予算ベースで7,940万3,000円の減額となっている。

歳出

Q 大阪・関西万博参加事業費、狭山市からこの大阪・関西万博に参加するに至った経緯は。

A オリパラ首長連合を継承する形で令和3年に設立された万博首長連合にも継続して加盟しており、令和5年に当該連合から大阪・関西万博の自治体参加枠への参加について意向確認があった際に、国内外に向けた狭山茶の魅力発信と地域活性化を目的に、所沢市と入間市と共に参加することとした。

Q 男女共同参画推進事業費のうち、フェムテック体験事業運営委託料について、事業の概要と対象者、効果は。

A フェムテック体験事業運営委託料は、基本的には市職員向けの研修として、生理痛について学ぶセミナー、生理時の腹部の痛みを疑似体験できるVRデバイスを使用した生理痛体験及びワークショップなどを予定し、職場における生理痛への理解を深め、誰もが働きやすい環境づくりが促進されることを期待している。

Q 市民大学事業費について今年の10月から開講すると述べているが内容は。

A まちづくりを担う人材の育成、学びの成果を地域社会の中で生かす仕組みづ